NIE実践報告

1．タイトル：☆公務員試験に活かす「看板コラム」を使った新聞学習

2．学校名

大阪府興國高等学校

3．実践者名（代表者名）

谷口　雅之

4．学年

第1・2・3学年（全学年）

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

公務員志望者が在籍するコースの150人

6．単元（本時の学習課題）名

朝学「新聞学習」　　教科時間外に行う学習として実施（成績評価の対象外）

7．目標（狙い）

公務員採用試験の「作論文試験」ならびに「面接試験」の対策として、新聞コラムの筆写を通して時事問題への関心度を高め、文章作成能力の向上を目指す。あわせてものごとに継続して取り組む姿勢を形成する。

8．評価の視点

コラムを原稿用紙に正確に筆写できたかどうか。また、新聞コラムが取り上げた話題、時事問題に対してどのように分析し、どのような意見を持ったか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数

（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

主に始業前の時間を利用して「新聞コラム」を読んで、筆写する（年間を通じて、毎日継続して行う）。

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

①始業前に「新聞学習プリント」を生徒各自に取らせる。プリントに印刷されたその日のコラムを読ませ、全文をプリント下部に設けた原稿用紙形式のスペースに筆写させる。
②プリント紙面では、その日のコラムのキーワードや関連事項について可能な限り解説を行う。
③筆写作業はその日のうちに消化させ、終礼時にクラス担任に提出させる。
④全文を筆写する時間を確保できない時は、コラム内に出てきた語句について漢字練習をしたり、話題や時事問題に対する各自の意見を短文でまとめさせたりするスタイルにプリントをモデルチェンジする。
⑤提出させた「新聞学習プリント」は、一人ひとりに用意したファイルにあとで綴じこんで整理させる。
⑥コラムに合わせて生徒に書かせた意見は、テーマによっては集約、整理してクラス内で披露する。
（留意点）・「新聞学習プリント」は毎日作成し、生徒に提供する。
・使用する新聞コラム、社説などの選択については、生徒の視野を拡げ、人格形成にプラスになるようなもの、高校生に相応しいものを選ぶ。
・原稿用紙の使い方を完全にマスターさせる。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

今まで「新聞は大人のもの」という感覚で新聞そのものを敬遠していた生徒も、少しずつ社会の動き、事象に関心を持ち始め、ふだんの会話の中にもニュース性に富む話題が混じるようになっていった。コラムに触れることによって大人世代の考え方や行動に対して自分なりの賛否の意見を形成するようになった。

12．成果と課題

いろいろな事象に対して興味や関心を抱くだけでなく、社会のスタンダードな価値観に気づくようになり、素直な正義感や道徳感情、奉仕の精神なども芽生えて、公務員を目指す志の形成にも良い影響をもたらしたといえる。また、コラム筆者の意志が表れた文章を毎日書き写すことによって、生徒自身も一般常識を蓄積しながら、他人の意見や考えを自分のものにしていくという段階を経て、さまざまな事柄について自分なりの文章表現ができるようになり、「作文試験」の対策として役立った。このあとも、事実、情報の入手にとどまらず、新聞から世相を読み取って自分の生活態度へ反応させていく力を身につけさせたいと考える。